

## 大学コンソーシアム熊本 中期計画の進捗状況、評価

中長期計画に対する自己評価	
全体評価	<p>S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。</p> <p>A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。</p> <p>B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。</p> <p>C：当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。</p> <p>D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。</p>
B	
評価理由	<p>中期計画として作成した4つの目標に対し設定した15の取組について、それぞれ令和4年度の活動指標に照らして実績を評価した結果、S評価0、A評価8、B評価6、C評価0、評価せず1であった。また、年度毎の活動指標がない4事業については、S評価とした。目標ごとに設定した取組の総合的な評価は①「県内進学増加と県外からの進学者の導入」についてはB評価、②「産学官連携の機会の増加」についてはB評価、③「国際交流の活性化」についてはB評価、④「地域における高等教育の環境を向上させるための包括的な取り組み」についてはA評価とした。4つの評価結果をそれぞれの目的と照らし総合的に判断した結果、総合評価をBとした。</p> <p>〈参考：中期計画における数値目標との比較〉</p> <p>①県出身進学者の県内進学率 48.2%（目標：50%以上）、県外からの入学者 2,505人（目標：2,500人以上）、</p> <p>③留学生数 688名（目標：1,000人）</p> <p>※大学の進学率、入学者数は令和4年度の数（学校基本調査：R4.5.1現在）を参考としている。留学生数はコンソ調べ。</p>
<b>評価に関する備考（考慮すべき事項）</b>	
<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、一部人数を制限して実施する事業もあったが、可能な限り対面で実施し、その他オンラインを活用した取組みも含めて計画をすべて実施した。その他、活動指標にない事業も4事業を行うなど、指標だけにとらわれない活動も展開している。</p> <p>中期計画を作成した際の状況と大きく環境が変わり、それぞれの活動指標に対する実績をそのまま評価することが適当ではないと思われるものもあり、一部は活動指標を見直したうえで評価を行うことにした。</p> <p>中期計画の最終年度となる2023（令和5）年度は、達成目標を考慮しながらの活動となる。コロナ禍以前の水準まで戻るか不明であるが、それぞれの取組について、達成目標に注視しながら事業を進めていく必要がある。</p>	